

市民と市長の意見交換会<相川地区：相川会場> 質疑要旨

日時：令和6年2月12日（月・祝）16：30~18:00 会場：大佐渡開発総合センター

参加人数：25名

1 市政について

市長より説明	（説明内容） ○能登半島地震について ○令和6年度の政策について ○世界遺産登録について ○トキエア就航について
--------	--

2 質疑や意見

質問者 （居住地区）	意見の要旨	市長の回答	関係部署
達者	專業農家で、稼げる農業をやっていきたいが農業者も確実に減っている。国レベルで、農業をやりたくなるような支援策を講ずるようお願いをしたい。	農業で生活ができるということが担い手をつくる。佐渡の農業経営のなかでは、農業×Xのようなやり方が大事。米×柿、ルレクチェ、黒いちじく、リンゴなど難しい果樹栽培なので売れるが、作ってくれない現状がある。そのために棚や苗木を市が揃えて、3年リースし終わったら担い手にあげる。そうやって生産地を作っていくことも考えている。 国の中山間交付金があるが、8割しか補填せず2割は自己負担はおかしい。農地を守ることに對して中山間交付金に上乗せするような交付金制度が国の政策として合っていると考えるので、要望したい。	農業政策課
大浦	漁業が衰退している。佐渡市では栽培漁業をする考えはあるか。あれば教えてほしい。	漁業者自らが、どのような形で担い手を作っていくかを考えないとならない。そんな中で銀鮭の養殖は高い評価を得ている。できるところで育てる漁業をしていくしかない。定置網などの雇用をしっかりと確保しながら、企業を含めた中で養殖はやっていきたい。	農林水産振興課
相川	EVカーの活用として、佐渡市の補助金でホテル・旅館が充電設備を整備する仕組みはできないか。	国の補助金を活用して、過去の災害で孤立した集落の公民館に防災面からV2Hという機械（EVカーと建物を繋ぎ、建物内電源を賄う）を3年間で9基、整備する計画がある。充電設備は、民間企業がホテル・旅館に無償で設置する仕組みがあり、相川のホテルでも活用している。	防災課 総合政策課
金井 泉	江戸時代の佐渡奉行所では、役人たちの子供を集めて学習塾的な活用をして、その子供たちが明治時代に新し日本の経済界などで活躍をした。奉行所で佐渡学等を習える拠点としてはどうか。	奉行所の活用は進めるよう再度担当課に話しをする。	社会教育課 世界遺産推進課
大浦	若者の結婚問題で、市が婚活イベントを実施するような施策の考えはあるのか。	結婚問題を解決できる手法があれば、教えてもらいたいのが本音だ。自分から結婚しようと意識して動かいとだめだと思う。今、流行っているマッチングアプリを佐渡でやったらどうなるだろうか研究はしている。結婚するような機会を提供するより、結婚に向かって一步を踏み出せるような環境づくりをどのように支援すればいいのか、いろいろと試してみたいと思う。	総合政策課

相川	栗山日本代表監督の講演会とか、サッカーのアルビレックス新潟や佐渡高校野球部の甲子園出場などスポーツに関する施策はありますか。	指導者を応援し、どうやって指導者を作っていこうかと考えている。指導者というのは、中学校の部活動もそうだが、仕事をやりながらでは無理。ある程度専門で教えていけるような仕組みをつくらなければいけない。一貫してジュニアから指導をしているので全国大会出場までいっているのだと思う。指導者の免許をとるとか、いろいろな支援をしていきたい。 佐渡は離島なので、プロスポーツの拠点化は難しい。今、自転車のチームが拠点化をして頑張っている。みんなに愛されるチームになってもらいたい。	社会教育課
相川	能登半島地震のとき、どこへ行っていいのか避難するところが全然わからなかった。緊急情報伝達システムは、ただ高台へ避難してというものだった。どこが避難所なんですか。	まずは高台に避難をしていただくようお願いしたい。相川の場合ですと、相川分校、相川中学校などは避難所になっています。普段からそういうことを近所や地域で話し合いをしていただきたいと思いますし、相川支所に防災計画を立てる職員もいますので、ぜひご相談ください。佐渡市防災マップを持っていますので持ち帰りよく読んでください。（相川支所回答）	防災課